

松本民芸家具



体に叩き込まれた技術が完成度を極める。

家具を作る情熱と腕。曲げる、削る、組む、塗る、頑固な職人の技が組み合わされて家具は完成します。生活の場に移った家具は、使い心地の良い優しい家具として存在します。使う人の心と作る人の心が繋がった家具。家具は使うほどに多くのものを感じていただけます。



「家具調度品は元来それを使う人に奉仕する使命を持っています。健全で実用的で、長く使って飽きがかないものでありたいと思っています。ただの贅沢なものや脆弱な飾り物とは異なり、生活に役立つ実用生活工芸である民藝の家具製作が私達の本道であります。何年もまた何代にも亘って真摯に製作し、伝統を形成することが出来たならば、現代でも昔に劣らない立派な民芸家具を作ることが出来ると信じております。」

松本民芸家具創始者 池田三四郎

松本の家具作り四百年の歴史と松本民芸家具の歩み。

松本市の家具作りには400年を超える歴史があります。天正10年（1582）、深志と呼ばれていたこの地を「松本」と改称した小笠原貞慶が松本藩主になると、藩の統治下において城下町の商工業の一つとして家具作りが始められました。元禄10年（1697）松本藩の調べによると、家具に関するものとして指物師16人、大工46人、木獲屋9人、塗師屋16人、鍛冶屋46人等がいて、すでに産地を形成していました。

江戸末期の松本家具で最も多く作られたのが帖タンスで、このタンスは特別の型をしていて、極めて堅牢、剛硬で、これに取り付ける銚屋や錠前屋などの鉄金具類の製作者が松本の旧東町から泉町に向かって軒を連ね、明治初期頃には60軒を超えていたといわれています。

松本は日本屈指の和家具の産地として大正時代の末頃まで栄えました。しかし先の太平洋戦争と終戦後の混乱によって家具の生産は休止状態になり、家具作りの木工職人も職を失いバラバラになっていきます。その現況をつぶさに見ていた池田三四郎はそれを憂い、「家具作りで、この町の活気を取り戻さなければ」と、この情熱が後の松本家具の再興と松本の民藝運動に大きな功績を残します。

池田三四郎は、終戦直後の昭和23年、京都で開催された第二

回民藝協会全国大会に出席し、「美の法門」と題した柳宗悦（民藝運動の祖）の講演で聞いた「その道に一生懸命迷わず努めていけば、優れる者は優れるままに、劣る者は劣るままに、必ず救われることを確約する」という言葉が、心に強く響き後大きく左右する言葉と確信していました。

これからの日本の暮らしに洋家具が必要とされる時代がくると感じて、当時バラバラになっていた木工職人を集めました。どこから手をつけるべきか明確な考えも見出せぬまま、家具作りの再興に無我夢中で働き、これが「松本民芸家具」の始まりとなりました。

松本民芸家具が特に力を入れていたのが椅子でした。庶民の中から生まれ、庶民に育て上げられたイギリスのウインザーチェアと、アメリカ開拓時代のウインザーチェアを手本に製作・研究を続けました。これらの椅子の持つ精神が「民藝」に通じるものがあり、さらに日本の民藝運動の指導者である柳宗悦氏を始め、バーナード・リーチ、河井寛次郎、濱田庄司、芹沢銈介等各氏と出会い親交を重ね、真剣に家具作りに取り込むことから未来の活路が開けていき、今日の松本民芸家具の基盤をつくり上げていくことに繋がることになりました。



半世紀にわたって使いこまれたウインザーチェア。



#22型スツール
W41×D28×H41



角脚スツールテーブル
W41×D28×H41



T型四脚スツール
W30×D30×H41.5



三脚スツール
W30×D30×H41.5



四脚スツール
W30×D30×H41.5



WB型アームチェア
W61×D57.8×H102×SH43



#508D型ウインザーチェア
W59×D54×H92×SH44



フィラデルフィア・アームチェア
W62×D52.8×H115×SH45



ボウバックウインザーチェア
W65.5×D63×H116×SH44



スティックバックアームチェア
W57.5×D52.5×H90×SH42



#49A型ワイコムチェア
W40×D45.5×H82×SH43.5



猫脚ウインザーチェア
W63×D67×H116.5×SH45



コームバックアームチェア
W60×D63.5×H117×SH44



B型ワイコムチェア
W40×D46.3×H82×SH43.5

使うほどに家具は輝き、
使うほどに心が通じ合う。

品名
W(幅)×D(奥行)×H(高さ)×SH(座高)



ゴッホ型ラダーバックチェア
W42.5xD46.5xH83.5xSH43



A型布張ラダーバックチェア
W45xD46.2xH98xSH43



ラダーハイバックチェア
W61xD56.5xH111xSH44.5



#23型ラダーバックアームチェア
W63xD52.5xH110xSH42



バードケージアームチェア
W53xD51.5xH89xSH43



バードケージチェア
W51xD48.5xH88xSH43



#1安川式スピンドルチェア
W44xD51xH87xSH41.5



NC型チェア
W43xD47.2xH88xSH42



羽根付ベンチ(II)
W165xD57xH100xSH41



#220F型チェア
W42xD50.5xH82xSH41



#38型スピンドルチェア
W50xD43.3xH92.5xSH42



#306型スピンドルアームチェア
W55xD50.5xH85xSH41



SP型十字アームチェア
W60xD56.7xH83.5xSH38.5



南京小椅子
W35xD37.1xH77xSH42.5



M型スピンドルチェア
W50.5xD50.5xH87.5xSH43



SP型スピンドルチェア
W43xD46.5xH79xSH43



#16型スピンドルチェア
W43xD49.2xH80xSH41

時を経て完成してゆく。
次の世代へと使い継がれる。



ループバックチェア(I)
W57×D57.6×H99×SH44



ループバックチェア(II)
W47×D50×H96.5×SH43



#85リーチ型アームチェア
W52.5×D53×H90×SH42



#72リーチ型チェア
W43×D52.5×H91×SH42



#51B型ロッキングチェア
W58×D83×H88×SH38



K型ロッキングチェア
W54.5×D73×H100×SH37



アローバックチェア
W46×D43×H80×SH42



#91型キャプテンチェア
W61×D52.5×H73×SH41



L型ロッキングチェア
W61×D82×H106×SH39.5



W型ロッキングチェア
W57.5×D81×H105×SH38



コムバックロッキングチェア
W68×D88×H105×SH40



#39A型ロッキングチェア
W58×D82×H88×SH38

G-II型ロッキングチェア
W65×D84×H118×SH40

喜びを持って使い続けられる家具。

松本民芸家具が使っているカバ科の木・ミズメザクラは、山の奥深くに育ち入手もなかなか困難な存在です。その材質は非常に堅く、粘り強く、しかも狂いのこないのが大きな特徴です。それゆえに加工は難しく、研ぎ澄まされた技術を要します。このような条件から生まれた家具は、何世代にも亘って使い続けられ、使いこむほどに益々美しさを増してきます。

昔、樵は一日の仕事を終えるとミズメザクラの樹皮を体に貼って疲れをとったそうで、それは木に含まれているサリチル酸メチルが疲れを癒してくれたからです。家具に体を委ねると心身が癒されるのは、体のどこかで家具の香りを聞いているからなのでしょう。

家具は身近な家族のような存在感があり、何代にも亘って家族を見守り支え続ける。



J型ロッキングチェア
W68.5×D84×H110×SH38

スツールパタフライ卓
W67×D48×H45



C型丸卓
W83×D83×H66



F型ラウンドテーブル
W121×D121×H70



A-I型丸卓
W90×D90×H70



E型ラウンド卓
W112×D112×H70.3



H型食卓(Ⅲ)
W170×D85×H71



LT型卓子
W180×D90×H70



新型角脚卓(棚板付)
W120×D85×H70

NC型チェア
W43×D47.2×H88×SH42



G-II型面取食器棚
W86×D37×H173



A型スクエア卓
W91×D91×H70.5

B型ワイコムチェア
W40×D46.3×H82×SH43.5



#621型食卓
W136×D79×H70



SD型食卓
W180×D90×H70



B型ワゴン
W66×D40×H79



A型ワゴン
W65×D40×H78



マガジン卓
W64×D35×H60.6



K型バタフライ卓
W135×D91×H70



クインアン型バタフライ卓(I)
W159×D145.5×H71.5
クインアン型バタフライ卓(II)
W136.5×D121×H70 (写真)
クインアン型バタフライ卓(III)
W121×D106×H70



スティックバックアームチェア
W57.5×D52.5×H90×SH42

トレスルゲートレック卓
W91×D83×H70



#13型TF/バタフライ卓(60)
W76×D76×H60 (写真)
#13型TF/バタフライ卓(70)
W76×D76×H70



A型フォルディング卓
W100×D76×H65



M型バタフライ卓(楕円) I
W150×D90×H70 (写真)
M型バタフライ卓(楕円) II
W134×D79×H70



#304F型ロッキングチェア
W68.5×D83.5×H110×SH38

WB型アームチェア
W61×D57.8×H102×SH43

F型食卓(1)
W160×D85×H70

A型皿棚
W151.5×D21.5/46×H203



TM型食器棚
W91×D40×H176



A型食器棚 (I) W106×D39.5×H173 (写真)
A型食器棚 (II) W91×D39.5×H173



舞良型食器棚
W153×D46×H182



D型食器棚
W120×D45×H175



高山式食器棚
W90×D40×H176



K-Ⅲ型食器棚
W121×D40×H176

T型食卓
W160×D85×H71
#509C型ウインザーチェア
W59×D57.7×H96.5×SH42



C型食器棚
W121×D45.5×H173.5



E型電話台
W45.5xD36.4xH75.5



C型電話台
W45.5xD36.5xH75.5



高山式キャビネット
W90xD40.5xH81.5



H型キャビネット
W90xD38.5xH77.7



TM型キャビネット
W91xD40xH82.7



猫脚キャビネット
W80xD38xH80

猫脚ウインザーチェア
W63xD67xH116.5xSH45

#83V型バタフライ卓
W91xD67xH55



F型キャビネット
W80xD37xH80

D型ペディスタル卓
W100xD100xH71.2

#508D型ウインザーチェア
W59xD54xH92xSH44



コレクションケースC
W81.4×D35.7×H150



C型センターテーブル
W121×D60.5×H48.5
C型サイドボード (II)
W151.5×D46×H85
D型布張イス (I)
W61×D64.5×H94×SH40
D型布張イス (III)
W156.5×D64.5×H94×SH40



C型マガジラック
W52×D22.5×H38



D型マガジラック
W46×D22×H38



K型サイドボード
W160×D45×H85



舞良型サイドボード
W170×D45.5×H80



クリデンザサイドボード
W212×D46×H79



ST型布張長椅子
W184×D71×H88×SH38



オーディオボードE
W104.2×D68.5×H50



F型布張イス(Ⅲ)
W162×D66×H92.4×SH39.3

H型朝鮮棚
W127×D42.5×H110.5

F型茶卓
W115×D55×H45.5

F型布張イス(I)
W65×D66×H92.4×SH39.3



TM型ローボード(I)B
W150×D45.5×H48



C型ボールフット洋ダンス
W97×D48.5×H106



E型書棚
W120×D44.5×H178

H型両袖机
W151.5×D82×H76

WB型アームチェア
W61×D57.8×H102×SH43



J型書棚
W92×D39×H180



TM型片袖机
W115×D68×H71



ME型ビューロー W75×D46.5×H104

#72リーチ型チェア W43×D52.5×H91×SH42



T型三尺ビューロー
W91×D45.5×H101.5



TM型ビューロー
W81.8×D43.7×H104



S型ビューロー
W84.5×D44.8×H104



#308型ビューロー
W85×D44×H94



A型スタンド
W38×D38×H54



E型スタンド
W24×D24×H43.5



D型スタンド
W24×D24×H43.5

スタンド用の傘の色は全6色 (赤、オレンジ、緑、黄色、青、白)



#117型書棚(I)
W91×D30×H114



スラント書棚
W75×D30×H115



書類整理タンスC
W60.5×D41.5×H91



書類整理タンスB(小)
W50×D44.7×H91



ナイト卓
W60×D36×H48.5

#637型ベッド(タタミ)S
W111×D200×H74×SH40
#637型ベッド(タタミ)SW
W139×D200×H74×SH40 (写真)
#637型ベッド(タタミ)W
W163.5×D200×H74×SH40



D型小物整理タンス
W45.5×D49×H121



#503型整理タンス(I)
W90×D45×H106



#46型ベビータンス(I)
W90×D45×H106



DI-6型和タンス
W103×D49×H176



D型洋服タンス(IV)
W143.5×D58×H176



D型洋服タンス(II)
W106×D58×H176

D型和タンス(II)
W100×D49×H176

D型整理タンス(I)
W91×D49×H121



E-33型ローチェスト凸
W151.5×D47.5×H70



B型整理ダンス
W89×D44.5×H91



#508型金具付ダンス(I)
W90.9×D42.5×H106

金具付ローチェスト
W145.5×D42.5×H70.5

#508型金具付ダンス(II)
W60.6×D42.5×H106



D型姿見
W54.5×D38×H145



#807型姿見
W56.5×D39.5×H146.5



T型ドレッサー凸
W94×D44×H126×天板H70



S型ドレッサー
W80×D38×H138.5×天板H70



#19型ラシストール
W40×D35×H41

#309型一面鏡(I)凹
W100×D42×H130×天板H70



#505型茶タンス
W85×D38×H100



#221型グズ布茶タンス(Ⅱ)
W106×D39.5×H88

A型朝鮮棚
W44×D46×H157.5
新型折たみ座卓
W110×D75×H35
SW型座椅子
W57×D58.6×H48.8



「和」の格調。
家具は多くを主張しないから格調高く。
多くを語らないから信頼感が生まれる。



#132型朝鮮棚
W62×D41.5×H121
D型ローボード(左)
W120×D42.5×H45
B型ローボード(右)
W120×D42.5×H45
E型ローボード(右上)
W120×D34.5×H80
#527型一閑張座卓(Ⅰ)
W121×D79×H32



三味胴型茶保台(脚・折りタタミ式)
W80×D80×H32



#67型座卓(Ⅰ)
W115×D76×H32



TK型座卓
W121×D85×H32



D型衝立
W136.5×D32×H106



C型衝立
W121×D33×H106



#535型茶タンス
W94×D37.9×D121.2



A型舞良茶タンス
W86.5×D38.5×H86.5



G型朝鮮棚 W106×D38×H104.5



J型朝鮮棚
W71×D35×H148.5



S型違棚
W120×D33×H110

経済産業省より
伝統工芸品として
指定を受けている
松本民芸家具。



松本茶棚(漆)
W160×D42×H91



松本帖ダンスB(樺, 漆)
W79×D39.5×H88



中落茶布台
材質により寸法が随時違います



information

お手入れ方法

松本民芸家具は工場で出来た時がその完成ではありません。使い手によって磨き込まれ、より美しく育っていく過程を経て、完成していくものだと考えています。伝統家具に使用される木材、金具、塗装などは全て年月とともに変化していきます。木材は環境によって膨張したり収縮したりといった動きを常に繰り返しています。金物は腐食し、塗装は色が徐々に透け、良く触る部分は色が取れ、やがて摩耗して角が丸くなります。これら伝統家具は、日々のお手入れを行いながら年を経て、時には修理を行いながらも使い続けることで、新品の時とはまた違ったより深い本物の美しさを醸し出します。そのようにして使い手とともに時を経た家具

は、単なる「もの」と「ひと」といった関係を越えて家庭の中に溶け込み、生活によく調和し、離れがたい愛着を生じるようになり、親から子へ、子から孫へと使い継がれて行きます。

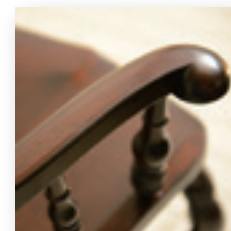
昔は自分の身の周りの「もの」に対して、それがどのような材料で、どのように作られ、取り扱いはどうしたら一番良いか、それが年月を経るとどのような姿に変化するのかを熟知していた人が多かったと聞いております。長く大切に使用したいといった、ものに対するいたわりの心があればこそと思います。



日常のお手入れ

日常のお手入れにつきましては、特別なお手入れ用品を揃えていただく必要はなく、固く絞った布巾と乾拭きとで毎日拭いて下さい。松本民芸家具の製品は、通常製品・漆製品を問わず毎日拭きこむことで色が透け、つやを増すよう丹念に自然な塗装を施してあります。購入された初期はごく僅かな傷を付けてしまっても気になるかもしれませんが、松本

民芸家具は現在一般に多く用いられているような硬質な塗装を用いず、あえて昔ながらの塗装法を施すことで、日々の御使用とお手入れによる経年変化が、よりはっきりとあらわれやすくなっています。



家具が長年の使用で汚れてしまったら

テーブルの天板や椅子の肘掛けがべたつく。このような症状は特にお食事に使用するダイニングテーブルや椅子などに起こりやすく、家具の表面に油脂分や汚れが付着したままの状態が長期間続くことによって塗膜そのものが変質してしまうことが原因です(お食事での油分だけでなく、空気中の油煙、皮脂や、軟膏、ハンドクリームなどに含まれる成分でもこのような症状が出る場合があります)。このような事を防ぐ為には、上記の日常のお手入れと同時に、家具の表面にくもりを感じるようになりましたら、塗装面の油分と汚れを落とすため、食器洗い用の中性洗剤を通常よりさらに多めの水で薄め、それを布巾に浸して汚れを拭き取っていただき、後、洗剤を残さないよう水で絞った布巾にてよく拭き取って下さい。但し既にべたつき症状が出てしまっている場合には本格的な修理が必要ですのでご用命下さい。

天板に白い痕が出来てしまったら

熱いものを直接置いたり、アルコール等を含む液体を付着させてしまった場合に発生するこの現象は、あくまでも表面的なものであり、ご使用に重大な影響を及ぼすことはありません。また、そのままお使いいただくと時が経つにつれ消えてしまうこともございます。年月を経ても消えない白い痕を完全に直すには修理が必要ですので、ご用命いただければ対応させていただきます。

抽斗の下から白い粉が出る

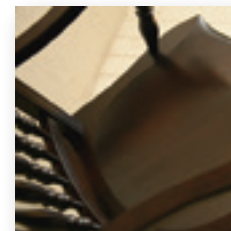
これは抽斗の底の部分と、それを受ける本体とがこすれ、次第に木材が削れて粉状になって出てくるものです。これは特に長年の使用で必然的に起こる現象であり、対処方法といたしましては、抽斗を抜き出し、底面左右のすれる部分にロウソクなどを塗り込んでください。こうすることで粉は出なくなります。しかし、将来的なことを考えますとまた発生し、抽斗自体にがたつきが生じることが考えられますので、機会を見て本格的な修理をお申し付け下さい。

接合部が緩んでがたつく

天然の木材は加工した後も何十年、何百年と生きています。そのため完成直後ではきちんと組み込まれていても、やがて乾燥等により木が痩せると、接合部に隙間やズレが生じてきます。伝統家具の世界ではこれらの変化は織り込み済みであり、たとえそのような状態としても機能や強さを保つように、全てほぞ組みにて製作されております。しかしほぞ部の接着に使用される接着剤には寿命があり、経年で接着力が低下すると緩んでくることがございます。松本民芸家具の製品は全て、再び締め直すことで緩みを直すことが出来ます。お気軽に修理をご用命下さい。

抽斗がきつく開かない

これらの多くは上記とは逆に設置場所の多湿によって木材が膨張して起こる現象です。緊急の対処方法としては、家具を壁面から離し、動く抽斗は全て本体から抜き、アクリルや紙類などの湿気を含みやすいものは外に取り出した状態で、エアコン等を使用して室内全体を強めに除湿して下さい。更に家具内部に向けて扇風機などで風をあてていただくと、一時的に開く場合がございます。しかし頻繁にきつくなる場合には一度ご使用環境に合わせた調整をさせていただきますと、今後そういった現象は起こりにくくなりますので、お気軽に再調整をご用命下さい。





#513型長ウインザーチェア(Ⅲ)
W160×D59.2×H110×SH42

株式会社 中央民芸

〒390-0811 長野県松本市中央4-7-5

TEL. 0263-32-1326

FAX. 0263-32-3802

<http://matsumin.com/>